

前立腺小細胞癌/神経内分泌癌

AMR療法

前立腺小細胞癌/神経内分泌癌 アムルビシン療法レジメン

D-34

総コース数

< 21~28日間隔・PDまで >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4~7日目	第8日目	第9~21or28 日目	第22or29 日目
治療内容								
検査	採血	○						○
診療	副作用の問診	○						○
	検査結果	○						○
治療中止 基準	①WBC 3000未満 ②好中球 1500未満 ③血小板 10万未満 ④発熱・CRP上昇	—	—	—	—	—	—	—
点滴	① 生食100mL +デキサート注射液3.3mg 2A 点滴静注【30分】	↓	↓	↓				↓
	③ カルセド (40mg/m2) +生食 50ml 【全開】	↓	↓	↓				↓
	③生食100ml 点滴静注 【全開】	○	○	○				○
プレメディ ケーション (必要時)	グラニセトロン内服ゼリー2mg 1錠 分1 朝食後	(↓)	(↓)	(↓)				

カルセドの投与量は45mg/m2では発熱性好中球減少症が高頻度で見られたため、日常診療では、40mg/m2が用いられることが多い。

看護のPoint!!

カルセドは血管外漏出すると大変!!点滴中は漏れてないか確認。
骨髄抑制と、心機能障害に注意。